

自由律俳句

おおくさ編集室選

いつもより綺麗な夫と見上げた満月
茶屋 木山 輝子

もろぶたに並べた熟柿のルビーの輝き
茶屋 藤原 寿郎

ガイドと共に上淀遺跡の丘に立つ
神戸上 柴田 篤子

ススキに秋の花出たりかくれたりの名月
生山 弓場 里恵

少し疲れた元気が宝なのかと自分に問う
茶屋 岸本 治枝

深みゆく秋風に豆剥く背に陽のぬくし
茶屋 木山 操子

大きく光るあの星に叶えて欲しい事がある
茶屋 長谷川由美子

白菜よう生えた虫薬かけておく
印賀 久代 幹子

布団とり込み心もほっこり鰯雲見てる
生山 渡辺 圭子

夕映えゆく機を見送って畠仕舞を急ぐ
茶屋 小林 道子

俳句

駄句駄句会編集室

新米や日々耕作者感謝して
神戸上 笹間 玲子

案じいし句友の訃報秋深し
宮内 田辺登志美

落葉敷き千の杖先月すすむ
豊栄 花倉美佐子

山里は早も暮ゆく眉の月
宮内 木村萬佐子

第三回 親守詩鳥取県大会

入賞作品（定型詩の部）

■審査委員長賞

お母さん あなたの料理 星五つ

日南中学校1年 小谷 花実

■家族賞

言いたくて うまく言えない ありがとう

日南中学校3年 出口 弥春

入賞作品（連歌の部）

■鳥取県知事賞

子 あこがれの 父の走りに 背中追う

親 今は娘の 背中が見える

日南中学校3年 高橋 里奈

短歌

書初や笑う門には福来る

気持ちを含めて笑福の文字

下石見 浅川 三郎

枕辺にケイタイおきて夜の更けを

越し方偲ぶ木枯らしの音に

宝谷 横谷 秀子

縁結ぶ出雲大社に参拝する

千三百年の神話博

阿毘縁 木村 民子

吾の知らぬ戦争演じる孫たちの

平和の誓いに涙こぼれる

霞 岸 尚子

川柳鈴の音会 様

2001年11月号（広報調べ）より、長きにわたり広報誌へ投稿いただき、ありがとうございました。

「手話教室のお知らせ」

日南町手話サークルでは、手話教室を開催しています。

手話が初心者の方でも安心です。おしゃべりをしながら、日常生活の中の簡単な手話表現を学習しています。

手話に興味のある方は、一緒に学習してみませんか？

【お問い合わせ先】

石田由香里（080-3052-9933）
浅野 博美（090-9734-1887）

「平成31年 亥（いのしし）年」

「平成」



手のひらを下向きにして左から右へ水平に動かす

「と」



指文字のと

「え」



指文字のえ

「1」



「年」



右手に丸めて筒状にして、右手のひとさし指をポンとあてる

「いのしし」



両手の人差し指をかぎ型にして口元から前に出す

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

